

むらかみよしこ タペストリー展

平成24年3月1(木)～6(日)



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
http://www.ifurai.jp/

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。

猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜日(休日の場合その翌日)
【観覧料】一般400円 高校生200円
【アクセス】

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分



いのち 生命 白い竜になって

ほうそ
-法曾まほろばⅢ-

夜半すぎに白い霧がたちのぼり あたりを包むとき
見慣れた景色が 見知らぬ異界に変わる。

霧は この地に生きるものたちの
息をあつめて形作られてきた。 遠い昔からくり返されてきた
命のいとなみの息をあつめて……

■「生命 白い竜になって」は、法曾の山や空や川や谷間のすべての生命の息づかいがまじりあい、壮大な生命の舞いを繰り広げ、白い竜になって、明け方天空に昇っていく様子を表現しています。前作「生命のまほろば 法曾」「生命の夜明け 法曾」に続く法曾シリーズの第3作目。これらは法曾の大地に生きるすべての生命への賛歌です。

■作品は羊の毛を手紡ぎ、豊かな自然の色をいただいた草木染、細かい絵柄を丁寧に綴(つづ)れ織りして制作。草木のかもしれない色彩と手織の暖かい感触が、画面で躍動する生命を慈しんでいるようです。会場には法曾3部作を一堂に展示、また作品の絵柄を挿絵として創作した「手作り絵本」も。どうぞご覧ください。

